

上田市の日本語学習支援の状況

1 外国人の児童生徒に対する日本語教育について

(1) 集中日本語教室について

来日直後等で日本語や日本の生活習慣を全く知らない子どもたちにとっては、日本の学校生活に適應していくのには、大きな困難が伴う。その対応策として、基礎的な日本語や生活習慣などを学び、スムーズな学校生活への適應を支援するため、集中日本語教室「虹のかけはし」を県と協働で開設した。

① 場 所

- ・東小教室（東小学校内、試行期間 H18.6 月～、H18 年 8 月 23 日開設）
- ・南小教室（南小学校内、H19 年 5 月 11 日開設）

② 指導体制

各校バイリンガル教員 1 名、バイリンガル指導補助員 1 名

(2) 外国籍児童生徒日本語教育事業

外国籍児童生徒が就学する市内の小・中学校に週 1 回程度指導員を派遣し、日本語の指導を行なう。必要に応じて、日本の生活習慣への指導や保護者との連絡等の通訳も行っている。H25 年度 6 名の指導員 12 校へ派遣

(3) 外国籍児童生徒支援員の配置

学校教育課にバイリンガル（ポルトガル語）の外国籍児童生徒支援員を配置し、就学についての相談や説明などを実施している。主な活動として、転入学齢外国人の就学相談、家庭訪問や就学時健康診断等の通訳支援、配布文書等のポルトガル語への翻訳を行っている。

2 地域の日本語教室について

行政と各教室との連携を図るため「上田市日本語ネットワーク」を設置し、情報の共有やさまざまな課題の解決に向けた会議を定期的開催している。

日本語教育関係予算として各日本語教室への教材の支援を行う。（平成 25 年度）100 千円

日本語教室に関係する取組として、上田市多文化共生推進協会（AMU）では日本語を支援するボランティアの育成及びスキルアップのために、日本語ボランティア養成講座を実施している。